



本を読んでいますか？

家読うちどくのすすめ

2010年は国民読書年です。
ぜひ皆さんも「自分の一冊」を探してみませんか。

二〇一〇年の今年は
国民読書年。一出会
つてみませんか、新
しい本の世界に！

みなさんは一年間に何冊本
を読んでいますか？

たくさん読むという方も読
まない方も、二〇一〇年は、
まだ知らなかった本に出会う
これまでにないチャンスです。

「本は読みたいけど、家族
と過ごす時間もほしい」「テ
レビのように、読書も会話の
きっかけになるの？」

そんな方にぴったりの読書
の形「家読（うちどく）」。
二〇一〇年国民読書年に合
わせて、町立図書館からは「家
読（うちどく）」をお薦めい
たします。

家読（うちどく）
ってなあに？

家読は、そのまま「家庭で
の読書」を省略してできた造
語です。十年以上前から、全
国の小学校では「毎朝の十分
間読書」が行われてきました。
「家読」は、それを今度は家

庭でやってみよう、読んだ本
について家族や友達と話して
みようという試みなのです。
読書は、「ひとり黙々と
集中して」というスタイルも
もちろんありますが、家読は
本の感想を家族と話し合った
りすすめ合ったりしながら、
読書を通じて家族のコミュニ
ケーションを深めることを目
的としています。

家族でいっしょに
読んでみよう

— 親子読書 —

現在、町内の全ての学校で、
年間を通して読書活動に力を
注いでいます。

朝の一斉読書（食堂でみん
なでいっしょに本を読んでみ
る）や、図書委員が本の紹介
を行ったりと、様々な工夫を
凝らして活字に親しんでいま
す。

その中で、家庭での読書習
慣づくりに、ぜひおすすめし
たいのが「親子読書」です。
水沢小学校では、昨年、家
族で同じ本を読む「親子読書」
に取り組みました。これは、
読む本を選ぶところから読み
終えた後の感想をまとめると



水沢小学校の一斉読書の様子。

ご家族の感想から

「人喰い鬼がゼラルダのおいしい料理を食べて心が変わっていくのがわかりました。ラストは恋あり愛ありハッピーエンドで良かったと思います。息子と真剣に本を読むのもいいですね」
—水沢小学校6年生の家族の感想より
(書名「ゼラルダと人喰い鬼」)

「あえて娘に薦められたのが教科書の中にある「やまなし」という作品でした。私も今どんなことを習ったり読んだりしているのかも気になり、楽しく読んでみました。～中略～毎日が忙しく、ふと、娘のしている勉強、感じているものに触れて、とてもいい時間が持てたと思いました」
—西山小学校6年生の家族の感想より
(書名「やまなし」)

ころまで、親子でともに行うというものです。選ぶ本は絵本から昔話、伝記など、家庭によって様々。感想も心のこもったものばかりでした。
また、西山小学校で行った「親子読書」では、教科書に載っていた作品を読んで感想をまとめた家庭もありました。このように、読む本は書店で売っている本だけとは限りません。子どもたちが学校で使っている教科書を読んでみるというのもおもしろいものです。
同じ本を親子で読んで、感じたことや印象に残ったことが違うことは当然あります。なぜ、そこがおもしろいと感じたのか話し合ううちに、子どもの視点から新しい発見につながることもあるのではないのでしょうか。



親子読書に取り組んだ水沢小6年生と保護者の皆さん。

家読(うちどく)をやってみようというとき、より効果的に行う方法として、「ノーテレビ・ノーゲームデー」と合わせて行うことが挙げられます。これは、「今日はテレビを見ない・テレビゲームをしない」という日を決めて、読書に集中するというものです。
しかし、生活の中で情報源や娯楽の中心として重要な位置を占めるテレビ。絶対に見ないということではなく、最

ノーテレビとノーゲームデー？
—「無理せず楽しく」が長続きのコツ—

初は、あまり頑固に気を張らずに、「必要のない時間はテレビのスイッチをちよつとだけ消して、読書を楽しんでみよう」

くらしい気持ちから始めてみるのが良いのかもしれない。
新年、どんな本を読もうか迷っている方、自分の読みたい本が決まっている方も、自分の希望の本についてぜひ町立図書館にお問い合わせください。町立図書館では、町民の方からのお問い合わせ、本のリクエストに対し分かりやすく丁寧に対応いたします。本の貸出しは一人何冊でも二週間まで借りることができ、調べものや郷土資料が必要なときもぜひご利用ください。



絵付きの読書感想文で友だちに本の紹介。(西山小)

サークル び一つく

1がつのおはなしかい

いつ 1がつ23にち どのび 10:30あんから
(1がつかんがかわりばんか！)

どこで にしかわちゅうけつとしかん

プロگرام	※プロگرامはんこうにきつてもあひます。
えほん	おにほうち
かみしばい	ウイローのぞいものごたけ
パネルシアター	あんもちみっつ
	みしごぞたまご

てあじやこうごくもおはなしかい、おたのしみ〜！

▲サークルび一つくでは、毎月おはなしかいを開催しています。ぜひ参加してみたいかたがですか。

問 町立図書館

☎七四一三三三三

—国民読書年二〇一〇年、あなたはどんな形で読書を楽しみますか？自分だけのお気に入りの一冊に出会えるチャンスです。さあ皆さん、本に出会いに行きましょう。

開館時間／午前九時から午後四時三十分まで(火曜日のみ午後六時まで)
休館日／毎週月曜日、毎月第三日曜日、年末年始(十二月二十九日から一月三日まで)

わが家の～うちどく家読しゃしん館～ うちどく写真展示会



本を読むこと。

それは人間が言葉を学び、感性を磨き、表現力を高め、想像力を豊かにし、人生をより深く生きる力を身につけていく上で欠くことのできないものです。

西川町立図書館では、家族で読書の習慣を共有することで家族の会話を増やしコミュニケーションを深める『家読』を推進しています。

くらしの中で、誰かがいきいきと本を読む姿、家族が本を通してふれあう素敵な場面はありませんか？あなたの周りのすてきな「読書」しゃしんをお送りください。ご応募をお待ちしています。

★1、募集作品

しゃしんには、必ず本を入れてください。雑誌、漫画は対象外です。

(例) 家族が本を囲んで語り合う風景 など。



★2、応募方法

- | | |
|-----------|---------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| (1) 応募資格 | 西川町内にお住まいか、西川町に在勤・在学されている方。 |
| (2) 応募方法 | 応募表(町立図書館にあります)としゃしんを一緒に町立図書館へ提出してください。 |
| (3) 応募サイズ | 八つ切り(165mm×216mm)、A4サイズ程度。 |
| (4) 応募点数 | 制限はありません。お一人何作品でも応募ください。 |
| (5) 応募料 | 無料 |
| (6) 締切日 | 平成22年10月10日(日) 必着のこと |
| (7) 応募先 | 〒990-0703 西川町大字間沢 280 西川町立図書館
電話 0237-74-3131 FAX 0237-74-3219 |
| (8) その他 | ・応募作品は原則として返却しません。
・人物等の被写体に関する肖像権については、応募者の責任において了解を取っていただきますようお願いします。
・応募作品の使用権は町立図書館に帰属し、今後プリント展示、宣伝広告などの各種広報活動に使用することがあります。 |

★3、展示期間

応募作品は平成22年10月27日(水)から11月12日(金)まで、西川交流センター2階ロビーに展示いたします。

※文化祭期間(10/30～11/3)は町立図書館前廊下へ展示します。

詳しいお問合せは

西川町立図書館 TEL 0237-74-3131 FAX 0237-74-3219

家読（うちどく）写真展 募集要項

- 《募集作品》 家庭やプライベートでの読書の様子を写した写真。
作品には、必ず本を入れてください。
※雑誌、漫画を読んでいるものは対象外となります。
- 《応募資格》 西川町内にお住まいか、西川町に在勤・在学されている方。
- 《応募規定》
- ・サイズは八切程度とする。プリントしたものをお送り下さい。
町立図書館への直接の持ち込みも可。
 - ・カラー、白黒、縦・横、銀塩、デジタルの別を問いません。
 - ・お一人何点でも応募できます。
 - ・応募作品には、それぞれの作品に応募用紙をお付け下さい。
 - ・応募作品は未発表のものに限ります。
 - ・被写体の人物について、肖像権侵害等の責任は負いかねます。参加に際して、必ず被写体本人の承諾を得てください。
 - ・応募作品の使用権は西川町立図書館に帰属し、今後、プリント展示、宣伝、告などの各種広報活動に使用することがあります。
- 《作品の返却について》 ・応募作品は返却いたしません。予めご了承ください。
- 《応募期間》 ・平成22年8月1日（日）～10月10日（日）
- 《応募先》 ・〒990-0703 西川町大字間沢280
西川交流センターあいべ内 西川町立図書館
- 《主催》 ・西川町立図書館
- 《展示期間》 ・平成22年10月27日（水）～11月12日（金）
応募された全作品を、西川交流センターにて展示します。
- 《お問合せ》 ・応募についてのお問合せは、西川町立図書館までお願いいたします。
電話 0237-74-3131 FAX 0237-74-3219

きりとり線

家読写真展 応募票	
題名（タイトル）	
作品についての メッセージ・コメント	
氏名（フリガナ）	
ご住所	
電話番号	